



令和5年 新年年始 →しんねんねんし← 明けましておめでとうございます

校長 吉田 元

各ご家庭で楽しく充実した年末年始を過ごしたのと思います。笑顔で登校し挨拶する子供たちにこちらからも自然にニコニコしています。さあ、いよいよまとめの3学期です。学校では、児童一人一人が4月に立てた目標を達成させ、上の学年への意欲をもたせるよう、生活や学習のまとめをしていきます。

さて、私が新年になるといつも思い出すのは、一休さん（一休宗純）が詠んだ「門松は冥土の旅の一里塚 めでたくもあり めでたくもなし」という歌です。正月の門松はめでたいものとされているけれど、飾るたびに1つ歳を取り（当時は数え年で、1月1日に全員1つ歳を取った）寿命＝死へ近づくので、門松は死に近づく旅の一里塚のようだ」という意味です。この歌を知ったのは、小学時代に読んだ伝記『一休』だったのですが、理解はできてもずっと実感が湧きませんでした。ところが、人生の3/4が終わったこの年齢になると、死に向かって一歩ずつ近づいていることを感じ、一日の重さが増した気がします。

年末・年始もメディアからは、事件、事故や行方不明といったニュースが流れました。大人子供にかかわらず、本来誰もトラブルは起こしたくもないし、巻き込まれたくもありません。残念ながら本校では、児童のいじめやトラブルがありますが、双方の話しや周りの児童の話しをしっかりと聞き、反省や改善に向けて話し合いを進めるようにしています。ご心配なことがあれば、ご相談ください。1年のスタートだからこそ、子供たちには何気ない日々を見直し、一日一日を大切にしてもらいたいものです。

「なぜ、勉強をしなければならないの？」

教員をしていると、必ず子供たちに聞かれる質問です。もちろん、お子さんから聞かれたお母さんやお父さんも多いことでしょう。

勉強が好きなお子さんがいます。「今まで知らなかったことがわかると楽しい。」「できなかったことができるようになると嬉しい。」「誰かに褒めてもらえてやる気になる。」一方で、勉強が嫌いな子もいます。「覚えることばかりだ。」「宿題やりたくない。」「テストで悪い点を取ったらどうしよう。」「勉強なんかしなくても生きて行けるじゃん。」となります。

4、50年も昔なら「勉強して一流の学校に進んで一流企業に務め、その中で年齢とともに上位職に就いていく」というわかりやすいエリートコースなるものがありました。それを肯定するか否かは別として、そうしたコースに乗ることが幸せな人生を送る方法という考えが強くなりました。ところが、今はそうした暗黙の前提が崩れ、価値観も多様化し、いわゆる一流の学校に入ることが必ずしも幸せを約束するものではないという考えが一般的です。では、なぜ勉強をするのでしょうか？

ある大学の先生の言葉を紹介します。「勉強することは、身体を鍛えるのと同じ。鍛錬を重ねれば強靱な肉体ができるように、**脳も勉強という鍛錬で考える力を高めることができる。**いずれ大人になれば、一人で生きていかなければならなくなるが、そのための力を備えるには鍛錬が必要である。もし勉強が実社会で役に立たないとしても、脳を鍛えているという意味で勉強は鍛錬であり、それは力が蓄えられていることになる。」

そうです。子供のときには誰もがその大切さがわからないまま自問自答して悩みますが、身近な大人に聞いてみると、ほとんどの人が、「若い頃の苦労があるから今の自分がある。」と考えていることがわかるでしょう。逆に、大人になって「あー、やっぱりこれまで勉強してこなくてよかった。」と言った人を知りません。

【偉人たちの言葉】も参考にしてみてください。

○人に魚を与えると1日で食べてしまう。しかし、魚のとり方を教えると一生食べていける。（中国の諺）

○他人が自分より優れていたとしても恥ではない。しかし、今の自分が去年の自分より優れていないのは立派な恥だ。（ジョン・ラボック）

○学問とは、人間はいかに生きていくべきかを学ぶものだ。（吉田松陰）

○勉強するから何がしたいかわかる。勉強しないから何をしたいかわからない。（ビートたけし）

12月の桶川小学校

なかよしタイム

桶川小学校では、毎月異年齢交流活動で「なかよしタイム」を行っています。1～6年生が同じグループで遊び、学年をこえて仲を深めています。1月のなかよしタイムからはリーダーが6年生から5年生に変わります。2学期までの間、なかよしタイムを引っ張ってくれた6年生の皆さん、ありがとうございました。5年生の皆さんは、良い伝統を引き継いでいきましょう。



思い出いっぱいの2学期

1年間で一番長い学期である2学期が終了しました。2学期も、多くの学校行事を実施することができました。子供たちからは、「行くことができ良かった」や「今年で一番楽しかった」という感想が聞くことができました。

3学期は、今年度の締めくくりの学期であり、次の学年への準備の学期になります。今年度、学んだことや体験したことを振り返り、来年度に生かせるよう、目標をもって3学期の日々を過ごしていきましょう。



Let's start English! ~レッツ スタート イングリッシュ!~

Merry Christmas and a Happy new year!

(メリークリスマス アンド ア ハッピーニューイヤー!)

「メリークリスマス。そして良いお年を！」

アメリカではクリスマス前に、クリスマスと新年を一緒に祝う表現を使うことが多いです。



1月の生活目標 色のこい野菜をもりもり食べよう

